

+.....+  
【ケアプロ通信vol.99】  
12月度ニュース: ~ケアプロ13周年~  
+.....+

---

いつも大変お世話になっております。  
ケアプロ広報担当です。

ケアプロでは毎年創業日の12月12日に  
Carepro Healthy Partyという創業パーティーを開催しております。

今年のCarepro Healthy Partyは新型コロナウイルスの影響により、  
社員のみでオンライン開催とさせていただきました。  
オンライン上でしたが、一年ぶりに社員が集まる場を設けることができ、  
とても楽しい時間を過ごしました。

社員交流の場ではグループに分かれ「今年の一文字」について語り合ってもらいました。  
毎年、京都・清水寺で発表される「今年の漢字」、2020年は「密」でしたが、  
社員内で出た今年の一文字は「動」「家」「新」などがありました。

「動」「家」「新」を選んだ理由としては  
「しっかり自分で考え、どう動くのかをテーマにした1年だったから。」  
「家にいる時間が増えたことで、家族との過ごし方が変わり良い生活の変化があった」  
「新しい環境で新しい取り組みを新しいメンバーと行った年だったので」  
などの前向きなケアプロらしい内容が多かったです。

まだ新型コロナウイルスの終息が見えず、不安な日々は続いています、  
ケアプロは皆様の健康的な社会づくりに貢献するために、  
14年目も「いっちにー、いっちにー(12/12)」と一歩ずつ歩んでまいります。

それでは12月度のニュースをお届けいたします。

---

+.....I N D E X.....+

- 【1】代表 川添高志  
~ケアプロ13周年~
- 【2】予防医療事業部  
「鳥取でもイベント開催。47都道府県全国制覇達成！」
- 【3】在宅医療事業部
  - 1) 在宅看護学会で発表をしました！
  - 2) 訪問看護と介護で寄稿させていただきました！
- 【4】交通医療事業部
  - 1) 新規事業部10人体制
  - 2) サッカーナースによるコロナ対策

+.....+

---



+……………予防医療事業部長 鈴木 沙由梨からのメッセージ……………+

「鳥取でもイベント開催。47都道府県全国制覇達成！」

12月10日に明治安田生命 鳥取支社でイベントを実施いたしました。  
これでケアプロ予防医療事業部の健康チェックイベントは47都道府県、  
全国での実施を達成しました！

コロナ禍という逆境の中でイベントが実施できない期間もありましたが、  
諦めずに感染対策を徹底して現場を再開できました。  
休業中も歩みを止めるわけではなく、お互いに自分の学びを共有し合うことで  
新たな知識や視点を得ることができました。  
そうして14期を駆け抜けていき、15期がはじまりました。  
地道にイベントを実施してこのような成果を出すことができたことを誇りに思います。

今後もケアプロは、沢山の人の健康に寄り添えるように活動していきます。



+…………在宅医療事業部長 金坂 宇将からのメッセージ…………+

## 1) 在宅看護学会でWEB発表をしました！

11/14、15日に開催された、日本在宅看護学会で、2演題WEB発表しました。

ケアプロ訪問看護ステーション東京では、毎年、新卒3年目のスタッフが実践の意味や意義を振り返り、検討することを通して、3年間の訪問看護実践をまとめて発表しています。そして、今年は、足立ステーションのスタッフ3名が、スタッフ通しの対話を通して、思考や実践を言語化することで見えた訪問看護師の実践の様相についてまとめて発表してくれました。

学会という機会を活用して、アウトプットすることは、日々の実践の質向上のためにもとても重要なことです。これからも、スタッフの学会発表の機会も少しずつ増やしていければと思います！

## 2) 訪問看護と介護で寄稿させていただきました！

訪問看護と介護12月号「コロナ禍で在宅ケアをつなぐために」で「コロナ禍での経営判断と組織運営」と「災害と似て非なる新型コロナウイルス感染症」というテーマで寄稿させていただきました。

コロナ禍で奮闘した経験から、訪問看護事業所におけるコロナ禍での件数の管理、労務管理、手当等についての一事例として弊社の実践をご紹介させていただいております。是非、ご一読下さい！

また、現在BCPについて、下記テーマにて研究活動中です。「訪問看護事業所の災害時における事業継続計画(BCP)の実態調査」現在、結果集計中ですので、研究結果が取りまとめられましたら、改めて公表させていただきます！



+…………交通医療事業部長 川添 高志からのメッセージ…………+

## 1) 新規事業部10人体制

昨年6月に3名で発足した交通医療事業部は、10名体制となりました。



新卒看護師や保健師、理学療法士、介護職、公衆衛生やスポーツ医療、哲学や倫理の修士、元JR東日本などの脱サラ組、デザイナーなど。

それぞれに熱い想いをもち、外出やスポーツ看護の社会インフラを創ろうと取り組んでいます。

新規事業の成功要因は、人です。

まだまだ駆け出しの身ではありますが、期待してください。

●ドコケア <https://dococare.com/>

●サッカーナース <https://soccer-nurse.com/>

## 2) サッカーナースによるコロナ対策

コロナ対策ガイドライン作りへの助言や当日の感染対策など、救護に限らず、多様な健康課題への対応を求められています。



イベント主催者や参加者から、「安心した」という声をいただいています。

今後、スポーツに限らず、様々なイベント会場において、感染対策や救護のニーズは高まると考えています。そのため、現在は首都圏と関西の一部地域に登録しているサッカーナースの体制を少しずつ全国に広めていきます。

●サッカーナース <https://soccer-nurse.com/>